ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

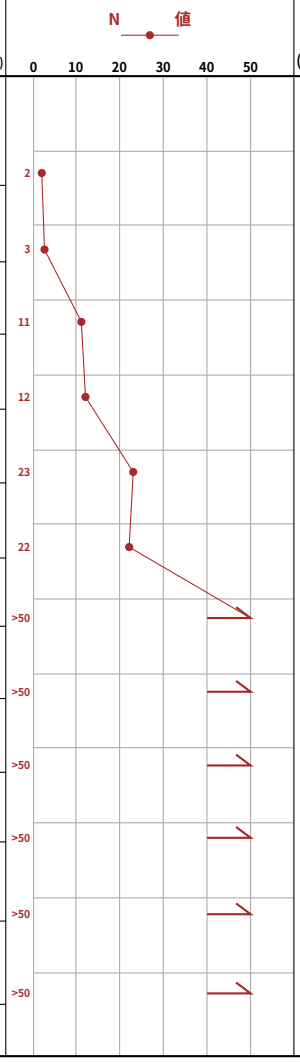
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.4(測点No.72+10.0)	調査位置				北　緯	36 ° 48 ' 21.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2008-02-20 ～ 2008-02-21		東　経	140 ° 01 ' 09.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人	コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者
孔 口 標 高	169.37 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	12.43 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	168.87	0.50	0.50		表土 (SF)	暗褐			旧畑の耕作土 二次堆積のローム質粘性土主体 φ2～10mm程度の礫点在する		
1	167.82	1.05	1.55		砂混じり粘土 (CH-S)	褐		軟らかい	粘性やや強い,含水やや多い 乱れている 二次堆積土と思われる 全体に細砂および少量のスコリア混じる φ2～10mm程度の風化礫混じる		
2	166.32	1.50	3.05		礫混じり粘土 (CH-G)	褐		軟らかい	粘性やや強い,含水やや多い 二次堆積土と思われる 全体に砂およびφ2～20mm程度の風化礫混じる φmax150mmの玉石点在する		
3	165.62	0.70	3.75		砂礫 (GS)	暗褐	中ぐらい		礫はφ2～30mm程度の円,亜円礫主体 礫間は中粗砂で充填されるが,堆積状態はルーズである		
4	164.87	0.75	4.50		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい		礫はφ2～30mm程度の円,亜円礫主体 風化礫混じる 礫間は砂および粘土で充填されている 全体に粘土の混入が多い 4.0m以深,含水やや多くなる		02/20 4.40
5	164.42	0.45	4.95		砂質シルト (MS)	暗灰		中位			
6	162.57	1.85	6.80		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい		粘性,含水中位 細砂および少量の腐植物混じる 礫はφ2～30mm程度の円,亜円礫主体 礫間は砂および粘土で充填されている 堆積状態は全体にややルーズである		
7	156.94	5.63	12.43		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐灰	非常に密な		礫はφ2～50mm程度の円,亜円礫主体 風化礫混じる 礫間は砂および粘土で密に充填されている 所々にφ100～150mm程度の玉石を点在する 部分的に粘土多く混じるが固結している		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／21	1／11		2／32	2
1.47					
2.15	1／18	1／9	1／6	3／33	3
2.48					
3.15	5	4	2	11／30	11
3.45					
4.15	5	4	3	12／30	12
4.45					
5.15	7	8	8	23／30	23
5.45					
6.15	6	9	7	22／30	22
6.45					
7.15	16	28	6／2	50／22	>50
7.37					
8.15	20	30／9		50／19	>50
8.34					
9.15	23	27／7		50／17	>50
9.32					
10.15	50			50／10	>50
10.25					
11.15	19	31／6		50／16	>50
11.31					
12.15	13	15	22／8	50／28	>50
12.43					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/20
						02/21